

県民満足度調査 調査票

(令和2年7月)

ご記入にあたってのお願い

回答方法は“郵送”または“インターネット”のいずれかをお選びいただけます。

【郵送で回答する場合】

- ・ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。1つだけ回答していただくものは、当てはまる選択肢の番号を囲むように○印をつけてください。例) 1
- ・ また、複数回答していただくものは、回答欄に当てはまる番号を記入してください。
- ・ お答えが「その他」に当てはまる場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。
- ・ ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、ポストに投函してください。（お名前やご住所の記入は不要です）

【インターネットで回答する場合】

回答用ID： _____ パスワード： _____

- ・ 別紙「インターネットでの回答方法」をご覧ください。

【回答期限（郵送・インターネット共通）】

令和2年8月3日（月）

○お問い合わせ先

【調査の趣旨・内容について】

- ・ 埼玉県企画財政部計画調整課 評価担当（古川、中村）
- ・ 電話：048-830-2413（平日9:00~17:00）

【調査票の記入方法・締め切りなどについて】

- ・ 株式会社マーケティング・サービス 実査集計部 担当（佐藤、村上）
- ・ 電話：03-5386-2612（平日10:00~18:00）

県政に対する満足度と重要度についてお伺いします。

※ 参考資料「県政紹介パンフレット」を同封しておりますので、必要に応じてご覧ください。

○ 県政への満足度について

あなたは、以下の表にあげた1～14の各項目について、どの程度満足していますか。
2～4 ページの各項目それぞれについて、あなたの実感に近いものを選んでお答えください。

調査項目		あなたの満足度 (各項目ごとに1つずつ選び番号に○をつけてください)				
		満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない
1	子供を安心して生み育てる希望をかなえる 《主な取組》 パンフレット p1 ・きめ細かな少子化対策 ・保育サービスの充実 ・児童虐待防止対策の強化	1	2	3	4	5
		[自由記述] 「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
2	誰もが健康で安心して暮らせる社会をつくる 《主な取組》 パンフレット p2 ・人生100年時代に向けた健康づくり ・在宅医療の推進 ・介護人材の確保・定着	1	2	3	4	5
		[自由記述] 「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
3	医療の安心を提供する 《主な取組》 パンフレット p3 ・医療を担う人材の確保 ・救急医療体制の充実 ・県立病院の機能拡充	1	2	3	4	5
		[自由記述] 「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				

調査項目		あなたの満足度 (各項目ごとに1つずつ選び番号に○をつけてください)				
		満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない
4	暮らしの安心・安全を確保する 《主な取組》 ・生活の安心支援 ・防犯対策の推進と捜査活動の強化 ・交通安全対策の推進 パンフレット p4	1	2	3	4	5
		[自由記述]「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
5	危機や災害に備える 《主な取組》 ・緊急治水対策の実施 ・災害に備えた取組の促進 ・危機管理体制の強化 パンフレット p5	1	2	3	4	5
		[自由記述]「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
6	一人一人が人財として輝ける子供を育てる 《主な取組》 ・埼玉県独自の「学力・学習状況調査」 ・私立高校の教育費負担軽減 ・県立学校のICT教育環境整備 パンフレット p6	1	2	3	4	5
		[自由記述]「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
7	多彩な人財が活躍できる社会をつくる 《主な取組》 ・シニアの活躍支援 ・女性の活躍推進 ・障害者の自立の支援 パンフレット p7	1	2	3	4	5
		[自由記述]「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
8	埼玉の成長を生み出す産業を振興する 《主な取組》 ・企業誘致の推進 ・中小企業が抱える課題の解決支援 ・観光の振興 パンフレット p8	1	2	3	4	5
		[自由記述]「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
9	埼玉の農林業の成長産業化を支援する 《主な取組》 ・農業の担い手の確保 ・農業の収益力向上 ・県産木材の利用拡大 パンフレット p9	1	2	3	4	5
		[自由記述]「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				

調査項目		あなたの満足度 (各項目ごとに1つずつ選び番号に○をつけてください)				
		満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない
10	埼玉の活力を高める社会基盤をつくる 《主な取組》 パンフレット p10 ・道路ネットワークの整備 ・便利で安全な交通網の充実 ・活力を生み出す産業基盤の整備	1	2	3	4	5
	[自由記述] 「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。					
11	持続的発展が可能な社会をつくる 《主な取組》 パンフレット p11 ・持続可能な社会の実現に向けた取組 ・エネルギーの利用効率向上 ・食品ロスの削減	1	2	3	4	5
	[自由記述] 「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。					
12	豊かな自然と共生する社会をつくる 《主な取組》 パンフレット p12 ・みどりの保全と再生 ・川の再生 ・人と動物の共生	1	2	3	4	5
	[自由記述] 「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。					
13	県民が誇れる埼玉の魅力を高める 《主な取組》 パンフレット p13 ・埼玉ゆかりの三偉人 ・ラグビーワールドカップ2019™のレガシーの継承 ・A I を活用した県民サービスの利便性向上	1	2	3	4	5
	[自由記述] 「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。					
14	支え合いで魅力ある地域社会をつくる 《主な取組》 パンフレット p14 ・移住の促進と地域との関わりの創出 ・外国人の生活支援 ・人権の尊重	1	2	3	4	5
	[自由記述] 「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。					

○ 県政の重要度について

質問 15 次の 14 の項目のうち、あなたの現在の暮らしにとって、特に重要だと思うものを選んでください。(3つ選び、回答欄に番号を記入してください)

- 1 子供を安心して生み育てる希望をかなえる
- 2 誰もが健康で安心して暮らせる社会をつくる
- 3 医療の安心を提供する
- 4 暮らしの安心・安全を確保する
- 5 危機や災害に備える
- 6 一人一人が人財として輝ける子供を育てる
- 7 多彩な人財が活躍できる社会をつくる
- 8 埼玉の成長を生み出す産業を振興する
- 9 埼玉の農林業の成長産業化を支援する
- 10 埼玉の活力を高める社会基盤をつくる
- 11 持続的発展が可能な社会をつくる
- 12 豊かな自然と共生する社会をつくる
- 13 県民が誇れる埼玉の魅力を高める
- 14 支え合いで魅力ある地域社会をつくる

		番号
回答欄	最も重要だと思うもの	
	2番目に重要だと思うもの	
	3番目に重要だと思うもの	

○新型コロナウイルス感染症について

質問 16 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中（4月7日から5月25日までの間）に困ったことを次の中から3つ選び、回答欄に番号を記入してください。

- 1 学校等が休校となり、子供の世話をするため、仕事を休まなければならなかったこと
- 2 学校等の休校により、子供の生活リズムの乱れや学業の遅れなどの影響があったこと
- 3 外出自粛や子供の世話などのため仕事を休みたかったが、なかなか休めなかったこと
- 4 普段かかっている医療の受診が出来ない、もしくは控えざるを得なかったこと
- 5 介護サービスの休業により、家族の負担増や高齢者の心身機能低下につながったこと
- 6 普段に比べ家族と接する時間が長いことにより、家族間の人間関係に疲れたこと
- 7 ずっと家にいることにより、過度のストレスが溜まってしまったこと
- 8 自分や家族が感染し、生命の危険にさらされることが不安であったこと
- 9 近所に人が密集する場所（店舗・公園等）があり、感染する不安を覚えたこと
- 10 感染しないか不安だが、日用品の購入などで外出しなければならなかったこと
- 11 マスクや消毒液など必要な物資が購入できなかったこと
- 12 普段利用している店舗等が営業自粛のため利用できなかったこと
- 13 SNSなどネット上の情報に振り回されたり、真に必要な情報を得ることができなかったこと
- 14 行政等への申請が混雑し、また煩雑であるなどして面倒であったこと
- 15 仕事が減少したことなどにより収入が減少したこと（経営が厳しくなったこと）
- 16 内定取消や解雇など、雇用関係に影響があったこと
- 17 学費を払うことが難しく、今後の学業をどうするか悩んだこと
- 18 その他（具体的に記入

)

		番号
回答欄	最も困ったこと	
	2番目に困ったこと	
	3番目に困ったこと	

質問 17 4月7日に緊急事態宣言が出され、埼玉県ではみなさまに外出自粛などをお願いしました。

さらに、5月25日の緊急事態宣言解除後も「新しい生活様式」として、引き続き感染拡大防止に向けた取組をお願いしているところです。

そこで、下記の取組について、緊急事態宣言の前後でどのように自ら行動したのか、それぞれの時期でもっとも当てはまると思うものに○をつけてください。

	緊急事態宣言中 (4/7~5/25) の行動	緊急事態宣言解除後 (5/26 以後) の行動
○ 3密（密閉・密集・密接）の回避	1 宣言発令前より実施 2 宣言発令後より実施 3 行わなかった	1 宣言発令中より継続して実施している 2 宣言解除によりやめた 3 宣言中にやめた（元々行っていない）
○ 感染防止対策（マスク、手洗い、うがい、消毒など）	1 宣言発令前より実施 2 宣言発令後より実施 3 行わなかった	1 宣言発令中より継続して実施している 2 宣言解除によりやめた 3 宣言中にやめた（元々行っていない）
○ テレワーク	1 宣言発令前より実施 2 宣言発令後より実施 3 行わなかった	1 宣言発令中より継続して実施している 2 宣言解除によりやめた 3 宣言中にやめた（元々行っていない）
○ 時差出勤	1 宣言発令前より実施 2 宣言発令後より実施 3 行わなかった	1 宣言発令中より継続して実施している 2 宣言解除によりやめた 3 宣言中にやめた（元々行っていない）
○ キャッシュレス決済の利用	1 宣言発令前より実施 2 宣言発令後より実施 3 利用しなかった	1 宣言発令中より継続して実施している 2 宣言解除によりやめた 3 宣言中にやめた（元々行っていない）
○ 通販・デリバリー・テイクアウトの利用	1 宣言発令前より実施 2 宣言発令後より実施 3 利用しなかった	1 宣言発令中より継続して実施している 2 宣言解除によりやめた 3 宣言中にやめた（元々行っていない）
○ 集客施設のすいた時間帯の利用	1 宣言発令前より実施 2 宣言発令後より実施 3 利用しなかった	1 宣言発令中より継続して実施している 2 宣言解除によりやめた 3 宣言中にやめた（元々行っていない）
○ 体調不良時（発熱・風邪の症状など）の外出自粛	1 宣言発令前より実施 2 宣言発令後より実施 3 行わなかった	1 宣言発令中より継続して実施している 2 宣言解除によりやめた 3 宣言中にやめた（元々行っていない）
○ 多人数での会食・宴会	1 宣言発令前から行っていない 2 宣言発令中は行わなかった 3 宣言中にも行った	1 宣言解除後に行った 2 宣言解除以後も行っていない
○ 不要・不急な県外への移動・旅行	1 宣言発令前から行っていない 2 宣言発令中は行わなかった 3 宣言中にも行った	1 宣言解除後に行った 2 宣言解除以後も行っていない

質問 18-1 緊急事態宣言解除後において、新型コロナウイルス感染症に関わる対策のうち、次の1から19までのそれぞれの項目の必要性について、「1」～「3」の選択肢の中から、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	とても必要	まあ必要	必要でない
1 医療体制の強化	1	2	3
2 検査体制の強化	1	2	3
3 マスク、消毒液などの物資の確保	1	2	3
4 感染防護具の提供など介護事業者への支援	1	2	3
5 不要不急な外出自粛要請や特定の施設などに対する休業要請の継続	1	2	3
6 再度の感染拡大などに備えた県独自の基準づくり	1	2	3
7 中小企業向けの資金繰り等の更なる支援	1	2	3
8 フリーランスの方に対する経済的支援	1	2	3
9 離職者に対する就業支援	1	2	3
10 生活困窮者向けの更なる支援	1	2	3
11 学生向けの金銭的支援	1	2	3
12 情報発信の充実	1	2	3
13 行政手続きのオンライン化	1	2	3
14 学校でのオンライン学習の導入支援	1	2	3
15 企業のテレワーク導入に向けた支援	1	2	3
16 配偶者からの暴力（DV）や児童虐待の相談体制の強化	1	2	3
17 観光・飲食業など地域経済の活性化に向けた取組	1	2	3
18 文化・芸術活動への支援	1	2	3
19 その他 （具体的に記入）	1	2	3

質問 18-2 上記の1から19の項目の中で、県が取り組むべき対策として重要だと思うものを3つ選び、回答欄に記載してください。

		番号
回答欄	最も重要だと思う取組	
	2番目に重要だと思う取組	
	3番目に重要だと思う取組	

〇2040年問題について

質問19 2040年に向けて埼玉県では次のような変化が起これと予想されています。次の中からあなたが強く関心を持つことを3つ選び、回答欄に番号を記入してください。

- 1 県人口の約3人に1人が65歳以上高齢者となること
- 2 65歳以上高齢者の約4人に1人が医療・介護サービスを多く必要とする85歳以上となること
- 3 在住外国人が増加するなど、グローバル化がさらに進展すること
- 4 医療・介護ニーズが高まり提供されるサービスが不足すること
- 5 現役世代1人が高齢者1人を支える「肩車社会」に迫り、社会保障制度の維持が難しくなること
- 6 生産年齢人口（15～64歳）の減少が加速し労働力が落ちること
- 7 AIなどにより仕事が代替されること
- 8 「新しい生活様式」を踏まえ、自宅で授業を受けたり、仕事をするようになること
- 9 現役時代の所得が低く、老後を暮らす資産が十分でないこと
- 10 単身高齢者世帯が大幅に増加すること
- 11 出生数が少なくなり子供の数が減少すること
- 12 新型コロナウイルス感染症が拡大した状況を踏まえ、都市部からの移住が進むこと
- 13 主に県南地域以外で人口の減少が進み、人口の県内地域格差が生じること
- 14 空き家・空き地が増えること
- 15 利用者減少に伴う公共交通サービスの撤退により、移動手段の確保が困難になること
- 16 生産年齢人口（15～64歳）の減少に伴う税収の減少により、行政サービスが縮小すること
- 17 高度成長期に整備したインフラ・公共施設の多くが建設後50年以上経過すること
- 18 大規模災害において高齢者などの要支援者が増加し、避難が困難になること

		番号
回答欄	最も強く関心を持つもの	
	2番目に強く関心を持つもの	
	3番目に強く関心を持つもの	

質問20 あなたが今、この先の20年後を見据え、どのようなことに取り組みたいと考えているか、次の1~12の各項目それぞれについて、「1」~「3」の選択肢の中から、あなたの状況に最も近い番号に○印をつけてください。

	実際に取り組んでいる	取り組んでいないが、今後取り組みたいと考えている	どちらでもない
1 ウォーキングやスポーツ・運動	1	2	3
2 住んでいる家のバリアフリー化	1	2	3
3 地域のNPOや自治会活動など仕事以外のコミュニティへの参加	1	2	3
4 外国人に関わるボランティアへの参加や語学力の向上など異文化交流する機会の創出	1	2	3
5 学びなおしなど今持っている能力・スキルの向上やAI・ICT技術といった新たな能力・スキルの取得	1	2	3
6 老後に向けた人生設計や資産の形成	1	2	3
7 自らが望む医療やケアについての家族や医療・ケアチームとの話し合い	1	2	3
8 使われていない資産を活用するシェアリングサービスの利用（例：カーシェアリングなど）	1	2	3
9 災害や感染症パンデミック等危機を見据え、オンライン授業やテレワークなど「新しい生活様式」の導入	1	2	3
10 余分な包装を断ることやフェアトレード *製品の購入など、人や社会、環境に配慮した消費行動 ※コーヒー豆など開発途上国で生産された原料や製品を適正な価格で買うこと	1	2	3
11 プログラミング学習など社会の変化に対応できるような子供の能力の育成	1	2	3
12 その他 （具体的に記入）	1	2	3

質問21 2040年に向けて、埼玉県が行うべき取組を3つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

- 1 運動や社会参加による生涯を通じた健康の確保
- 2 医療・介護の連携促進など、高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- 3 女性、高齢者、障害者、外国人やLGBTQ*など多彩な人材の活躍促進
- 4 様々な分野におけるロボットやAIを活用した労働生産性を向上させる取組
- 5 企業等における働き方改革の推進支援
- 6 学校・企業におけるAI等の導入・活用を担う人材の育成と能力開発支援
- 7 世界的視野を持ち、グローバルに活躍できる人材の育成
- 8 企業誘致の推進や次世代産業の育成などの産業振興
- 9 キャリアアップ支援など非正規雇用の正規雇用化支援
- 10 NPOなど多様な主体による地域における支え合いの拡大など、共助社会の実現
- 11 結婚、妊娠や出産の段階に応じたきめ細かい支援
- 12 保育所の整備や保育士の確保など、子育て支援の充実
- 13 埼玉県の住みやすさのアピールなど、都市部からの移住を促進する取組
- 14 人口減少していく地域やその地の人々と継続的に関わる人々を増やし、にぎわいを創出する取組
- 15 コンパクトシティなど生活機能が近隣で維持されるまちづくり
- 16 ニーズに応じた柔軟な運行を行うデマンド交通の導入支援など交通ネットワークを支える取組
- 17 県内のすべての地域で高速でインターネットを利用できる通信網の整備
- 18 ICT技術の活用や近隣地域との連携など行政サービスを効率化する取組
- 19 社会インフラの強靱化や防災情報の発信、福祉的ケアができる避難所の確保など、地震や台風などの大規模災害に対する備え
- 20 未知の感染症対策を見据えた医療体制の整備
- 21 その他（具体的に記入）

※LGBTQ L:女性同性愛者、G:男性同性愛者、B:両性愛者、T:トランスジェンダー、Q:クエスチョニング（セクシュアリティを決められない、分からない、決めないなどの人）

		番号
回答欄	最も重要だと思うもの	
	2番目に重要だと思うもの	
	3番目に重要だと思うもの	

○ おたずねした内容を統計的に分析するため、あなたご自身についてお伺いします。

(1) 【性別】（当てはまる番号1つに○印をつけてください。※）

※自認している性別で回答して下さって構いません。

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

(2) 【年齢】（当てはまる番号1つに○印をつけてください。）

1. 18～19 歳 2. 20～24 歳 3. 25～29 歳
4. 30～34 歳 5. 35～39 歳 6. 40～44 歳
7. 45～49 歳 8. 50～54 歳 9. 55～59 歳
10. 60～64 歳 11. 65～69 歳 12. 70 歳以上

(3) 【職業】（当てはまる番号1つに○印をつけてください。）

1. 自営業主 2. 家族従業 3. 勤め（全日）
4. 勤め（パート） 5. 無職の主婦・主夫
6. 学生 7. その他の無職（年金、仕送りなどで生活）

① (3)で「自営業主」または「家族従業」とお答えの方にお伺いします。

【仕事内容】（当てはまる番号1つに○印をつけてください。）

1. 農林漁業 2. 商工・サービス業 3. 自由業（開業医、弁護士等）

② (3)で「勤め（全日）」または「勤め（パートタイム）」とお答えの方にお伺いします。

【働き方】（当てはまる番号1つに○印をつけてください。）

1. 正社員・正職員 2. 非正規社員・職員（派遣、契約、嘱託、パート等）

(4) 【住まい】あなたのお住まいの地域はどこですか。(当てはまる番号1つに○印をつけてください。)

- 1. 南部地域 (川口市、蕨市、戸田市)
- 2. 南西部地域 (朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町)
- 3. 東部地域 (春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)
- 4. さいたま地域 (さいたま市)
- 5. 県央地域 (鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町)
- 6. 川越比企地域 (川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、
滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、
東秩父村)
- 7. 西部地域 (所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市)
- 8. 利根地域 (行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、
杉戸町)
- 9. 北部地域 (熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町)
- 10. 秩父地域 (秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町)

(5) 【県内居住年数】(当てはまる番号1つに○印をつけてください。)

- 1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3年～5年未満
- 4. 5年～10年未満 5. 10年～15年未満 6. 15年～20年未満
- 7. 20年以上

(6) 【出生地】あなたは埼玉県のお生まれですか。
(当てはまる番号1つに○印をつけてください。「2. いいえ」を選択された方はお生まれの都道府県名/国名を記入してください。)

- 1. はい (埼玉県) 2. いいえ (都道府県)

(7) 【家族人数】いま一緒に暮らしているご家族はあなたを含め何人ですか。(当てはまる番号1つに○印をつけてください。)

- 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人 7. 7人以上

(8) 【結婚】(当てはまる番号1つに○印をつけてください。)

- | | | |
|-------|-----------|-----------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚・有配偶 | 3. 既婚・離死別 |
|-------|-----------|-----------|

① 【子供の人数】お子さんは何人いらっしゃいますか。同居・別居は問いません。(当てはまる番号1つに○印をつけてください。)

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|--------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. いない |
|-------|-------|-------|-------|---------|--------|

② (8)①で「1」～「5」とお答えの方にお伺いします。

【子供の段階】お子さん全員について当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | | | |
|--------------|--------------|-------------|--------|
| 1. 0～3歳 | 2. 4～6歳 | 3. 小学生 | 4. 中学生 |
| 5. 高校生 | 6. 短大生・専門学校生 | 7. 大学生・大学院生 | |
| 8. 学校教育終了・未婚 | 9. 学校教育終了・既婚 | 10. その他 | |

(9) 【家族形態】(当てはまる番号1つに○印をつけてください。)

- | | | |
|-----------------|---------|---------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯世帯(親と子) |
| 4. 三世帯世帯(親と子と孫) | 5. その他 | |

(10) 【関連分野】次にあげた日常生活やお仕事、勉強などの分野の中に、あなたに関わりのある(あった)分野はありますか。当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|----------|---------------|------------|-----------|
| 1. 子育て | 2. 児童福祉 | 3. 健康 | 4. 介護 | 5. 医療 |
| 6. 建設 | 7. 教育 | 8. 工業 | 9. 商業・サービス | 10. 観光 |
| 11. 農業 | 12. 林業 | 13. 漁業 | 14. 運輸・交通 | 15. まちづくり |
| 16. エネルギー | 17. 情報通信 | 18. 廃棄物・リサイクル | 19. 環境 | |
| 20. 文化・芸術 | 21. スポーツ | | | |

